

東京都立大学法人 教員募集要項

募集職位	助教
募集人数	1名
採用年月日	2024年9月1日
所属及び勤務地	東京都立産業技術大学院大学 産業技術研究科 産業技術専攻 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40
専門分野	情報技術分野(情報システム・情報工学・データサイエンス・コンピュータ科学等の領域)
業務内容 (担当予定科目)	①情報技術分野を対象とした学術研究 ②情報技術分野の授業科目(1科目) ③プロジェクト学修型科目の指導補助 <参考:当該コースの概要と、詳細を掲載したURL> ・情報アーキテクチャコースは、情報システムの開発・運用の現場で活躍できる高度な業務遂行能力を有する「情報システムアーキテクト」を育成します。 https://aiit.ac.jp/master_program/isa/
応募資格	①修士の学位あるいは博士の学位(取得見込みのものも含む)を有する者、または、同等の能力があると認められる者 ②専門分野に関する教育・研究能力があり、情報技術分野の科目を担当できること (当該分野に係る実務経験者も歓迎する)
勤務時間	1日7時間45分(みなし労働時間)の専門業務型裁量労働制
休日	週休2日(原則土曜日及び日曜日)、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
休暇	年次有給休暇・夏季休暇・慶弔休暇・妊娠出産休暇等 「東京都立大学法人教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則」によります。
給与・手当等	(1)職位・業績・職務内容に応じた年俸制。昇給あり。 (2)通勤手当等、諸手当支給。 ※(1)(2)は、「東京都立大学法人大学教員給与規則」、「東京都立大学法人通勤手当規則」によります。 年俸については備考も参照してください。 (3)退職手当は、別途法人退職時に支給。 ※(3)は、「東京都立大学法人退職手当規則」によります。
任期	任期5年(更新1回。更新後の任期は5年) 詳しくは本法人Webページ(https://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/aiit/)を御参照ください。 ※ただし、65歳となった年度の末日をもって退職となります。
試用期間	採用の日から6月
加入保険	公立学校共済組合、地方公務員災害補償、雇用保険
応募書類	(1)履歴書(様式1) (2)教育研究業績一覧(様式2) (3)代表的研究業績説明書(様式3) (4)教育・指導実績一覧(様式4) (5)外部資金実績一覧(様式5) (6)社会貢献等業績一覧(様式6) (7)採用後の教育・研究・社会貢献活動の計画(2,000字以内で作成:様式任意) (8)代表的論文3本(コピー可)または主要業績3点の説明資料 ※所定様式及び記入要領は下記ホームページからダウンロードしてください。 https://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/aiit/
提出方法	・電子データ(アドレスは以下提出先参照)により受け付けます。 ※(1)～(8)のPDFファイル(あるいはWordファイル)を電子メールに添付して一括送付してください。(添付ファイル名は応募者氏名とし、容量は20メガバイトを超過しないようにお願いいたします。なお、容量が超過する場合には、一通につき20メガバイトを超過しない範囲で分割の上、送付ください。また、電子メールのタイトルを「教員公募書類(0565 情報技術分野)」としてください。 ※メール送付後、提出期限の翌日までに受領確認の返信がない場合にはお問合せください。
提出先	kyoinkobo-sangidai@imj.tmu.ac.jp
提出期限	2024年4月30日(火)(必着)
選考方法	① 1次選考:書類選考 ② 2次選考:1次選考通過者に対して、5月中に面接を行います。 なお、時間・場所等の詳細は、別途1次選考通過者に御連絡します。 ※2次選考にあたり必要となる旅費・滞在費等は応募者の負担となります。また、可否は該当部局から通知されます。
問い合わせ先	① 公募全般に関すること 東京都立大学法人 総務部人事課人事制度係 電話 042-677-1111(内)1028 E-Mail kyoinsaiyo@imj.tmu.ac.jp ② 専門分野・業務内容に関すること 東京都立産業技術大学院大学 産業技術研究科長 吉田 敏 電話 03-3472-7831 E-Mail yoshida-satoshi@aiit.ac.jp
募集者名称	東京都立大学法人
受動喫煙防止措置の状況	屋内原則禁煙
備考	・勤務条件 土曜授業・夜間授業(～21:40) ・年俸の参考 30歳の助教の場合、4,500,000円～6,000,000円が目安となります。(学歴・職歴により異なります。) 本学は、性別、障がいの有無、文化的相違等にかかわらず、多様な人々が大学のあらゆる場における活動に同様に参加し、等しく尊重されるような大学としていくため、ダイバーシティを推進しています。